

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成20年2月7日(2008.2.7)

【公開番号】特開2001-245262(P2001-245262A)

【公開日】平成13年9月7日(2001.9.7)

【出願番号】特願2001-339(P2001-339)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/92 (2006.01)

G 1 1 B 20/10 (2006.01)

H 0 4 N 5/765 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/92 H

G 1 1 B 20/10 D

H 0 4 N 5/782 K

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月17日(2007.12.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 第 1 のアナログ信号を第 1 のデジタルストリームに変換するエンコーダ(16)と、

第 2 のデジタルストリームを第 2 のアナログ信号に変換するデコーダ(22)と、

記録媒体上での読み出し及び記録のためのメディア・インタフェース(20)とを有するデジタルビデオ記録装置において、

マルチプレクサ(18)が、前記エンコーダ(16)、前記デコーダ(22)、及び前記メディア・インタフェース(20)に接続されており、該マルチプレクサ(18)は前記デコーダ(22)を直接前記エンコーダ(16)に選択的に接続するように構成されている、

ことを特徴とするデジタルビデオ記録装置。

【請求項 2】 第 3 のデジタルストリームを出力するための少なくとも 1 つのデジタルソース(14, 34)をさらに有する、

請求項 1 記載のデジタルビデオ記録装置。

【請求項 3】 前記マルチプレクサ(18)は、

前記メディア・インタフェース(20)を前記エンコーダ(16)または前記デジタルソース(14, 34)に選択的に接続するための第 1 のスイッチ(30, 38)と、

前記デコーダ(22)を直接前記エンコーダ(16)または前記デジタルソース(14, 34)に選択的に接続するための第 2 のスイッチ(32, 40)とを有する、

請求項 2 記載のデジタルビデオ記録装置。

【請求項 4】 前記第 2 のスイッチ(32, 40)はさらに前記デコーダ(22)を前記メディア・インタフェース(20)に選択的に接続することができる、

請求項 3 記載のデジタルビデオ記録装置。

【請求項 5】 第 4 のデジタルストリームを受信するためのトランスコーダ(36)が前記マルチプレクサ(18)に接続されている、

請求項 1 から 4 のいずれか 1 項記載のデジタルビデオ記録装置。

【請求項 6】 前記第 1 のスイッチ(30, 38)はさらに前記メディア・インタフ

エースを前記トランスコーダ（３６）に選択的に接続することができ、前記第２のスイッチ（３２，４０）はさらに前記デコーダ（２２）を前記トランスコーダ（３６）に選択的に接続することができる、
請求項５記載のデジタルビデオ記録装置。